

研究課題名	急性胆道炎のベストプラクティス探求に関する日本台湾国際共同研究：急性胆嚢炎
研究機関名	日本肝胆膵外科学会 国際胆道炎特別研究プロジェクト委員会
研究責任者	所属 外科 氏名 高松 督
研究期間	平成26年1月 ～ 平成28年12月
研究の意義・目的	過去2年間に治療がなされた急性胆嚢炎のドレナージ術および手術の前後に使用された抗菌薬および胆汁・血液からの検出菌を解析し、アウトカムとの関連性を明らかにする。日本肝胆膵外科学会の認定する高度技能修練施設および、消化器内科、消化器内視鏡科からの研究協力者を募って研究を行う。さらに、台湾の消化器外科医、消化器内科医、感染症科医の研究協力者と募って研究を行う。集積されたデータを解析し、国際胆道感染診療ガイドラインTokyo Guidelines 2013(TG 13)の推奨事項について、これまでに明らかにされていない胆道感染症の最適治療法(ベストプラクティス)を今回のアウトカム指標によって検証する。
研究の方法 (対象期間含む)	国際多施設後ろ向き観察研究。2011年1月1日から2012年12月31日までの2年間(過去24ヶ月)に入院した、定義に合致する患者を本研究の対象とし、調査項目にしたがって医療情報を収集する。各施設で、個別研究ID番号で匿名化された患者データをファイルメーカー®に集積する。研究期間は承認されてから平成28年12月31日まで。
個人情報の取扱い	本研究では、研究開始時に、資料・試料を連結可能匿名化する。匿名化の方法は、研究対象となった患者には、個別患者番号を設定・管理し、患者番号とカルテID番号を照合するリストをつくる。被験者のプライバシーおよび個人情報の保護に努める。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 外科 氏名 高松 督 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6813 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525